

## ○ 委員長報告

1 2月定例会本会議で報告された経済企業委員長報告は、以下のとおりです。

令和4年12月定例会

### 経済企業委員長報告

報告いたします。

当委員会に付託されました議案の審査結果は、お手元に配付されております委員会審査報告書のとおりでありまして、いずれも原案のとおり可決決定されました。

以下、審査の過程において論議された主な事項について、その概要を申し上げます。

まず第1点は、企業と一体となった人口減少対策の推進についてであります。

このことについて一部の委員から、少子化対策や働きやすい環境づくりに幅広い視点で取り組む必要があるが、民間企業の持つアイデア等をどのように把握し活かしていくのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、人口減少問題は県だけで解決できるものではなく、経済界なども巻き込んで取り組む必要がある。

このため、企業・事業者と人口減少の危機感を共有するため、8月にキックオフセミナーを実施したところであり、引き続き、企業の意識改革を促進するため、中間管理職向けセミナーの開催などを検討している。また、民間企業が持つ現場の情報は人口減少対策を進めるにあたり重要なことから、これまでも各種会合での情報共有や課題等の聞き取りを通じ、政策への反映に努めており、今後は、収集した情報を部内で共有する仕組みの構築など、より効果的に取り組んでいきたい旨の答弁がありました。

第2点は、企業のDX推進についてであります。

このことについて一部の委員から、県内企業のDX推進に向けて県の取組状況はどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、企業のDX推進を人材面で支援するため、まずは、企業の経営層を対象に、DX導入のメリット等を理解してもらうDX推進セミナーを今年度2回開催した。当セミナーにより、DXの導入イメージをつかんだ後は、社内でDXプロジェクトを進める中核人材育成のため、主に中堅層を対象に全6回の業種別DX推進人材育成講座を開催している。

また、DX推進による産業競争力等の維持、強化を図るため、DX設備投資等に対する補助制度を創設し、184件、約10億3千万円を補助しているところであり、今後とも県内事業者のデジタル技術導入に向けた取組みを推進し、DXの普及に努めていきたい旨の答弁がありました。

第3点は、県立病院における新型コロナへの対応についてであります。

このことについて一部の委員から、県内の新規陽性者が3千人を超える日もある中、県立病院におけるコロナ病床の運用など、現場の状況はどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、県内の感染拡大に伴い12月5日から病床フェーズが3に切り替えられたことを受け、県立4病院の現在の確保病床数は77床となっており、12月5日から11日までの1週間の病床使用率は平均で33%となっている。

新型コロナ感染症発生当初と比べ、重症化リスクは低下しているものの、感染力は高まっており、コロナの入院患者が増えると、診療機能が低下し一般診療に影響を及ぼすおそれがある。

病院職員は、生活を自粛しながらのコロナ対応が長期化しており、現場の疲労感は継続している旨の答弁がありました。

このほか、

- ・IT企業の誘致
- ・外国人技能実習生の受入れ
- ・県立今治病院の老朽化対策
- ・黒瀬ダム施設管理に係る分担金

などについても、論議があったことを付言いたします。

最後に、請願について申し上げます。

当委員会に付託されました請願2件については、願意を満たすことができないとして、不採択と決定いたしました。

以上で報告を終わります。